

# W With

ウィズ

北海道社会事業協会帯広病院

〒080-0805 帯広市東5条南9丁目2番地  
TEL:0155(22)6600 FAX:0155(22)6620  
<http://www.obihiro-kyokai-hsp.jp/>

No. 2

発行日  
2010.4.30

地域の患者さんと共に、地域と共に！ **地域医療連携ニュース**



## 今月の内容

- 新病院長の就任挨拶…………… 2
- 脳外科の診療について…………… 3
- 眼科、眼瞼外来のお知らせ…………… 3
- 地域医療連携講演会(第2、3回)が開催されました …… 4

## 新病院長の就任挨拶

4月1日に深井名誉病院長の後を継ぎ帯広病院長に就任いたしました。私は昭和62年10月当院赴任してから、地域の医療機関の皆さま、当病院の皆さまに大変お世話になってきました。

帯広協会病院は昭和12年の開院以来、地域の医療機関の皆さまから患者さんをご紹介いただけてきました。そして帯広・十勝の地で2次医療、急性期医療を担当する病院として地域医療を担ってまいりました。最近勤務医不足は道内の小都市、郡部で現実のものとなっていますが、すでにお知らせしたように当院も例外ではありません。4月から消化器内科が減員となり、外来診療を制限せざるを得ません。医療連携室が窓口となり患者さんを地域の医療機関の皆さまへ紹介しているのが現状です。再び増員を努力していますがすぐには実現しません。急性期を乗り越えられた患者さんを逆紹介することで、病診連携の重要性を改めて教えられました。

接遇の講演で「患者さんの喜びは私の喜び」との言葉を聞きます。心のこもった接遇で患者さんに満足、喜んでいただき、そのことが医療者の満足、喜びになるということです。患者さんに満足してもら

える医療を提供することは医療機関の最大の使命だと考えます。そのためには良質な医療を提供できること、施設環境が快適であること、心のこもった接遇をすること等が必要となります。

このような医療を目指して職員一同、心を一つにして今後とも努力してまいります。地域の医療機関の皆さまには今までと変わらないご支援をお願い申しあげます。

北海道社会事業協会帯広病院  
院長 及能 健一



### 4月から消化器内科は「完全予約・完全紹介制」となります

当院では消化器内科医師確保のため鋭意努力をして参りましたが、平成22年4月より、当院消化器内科診療体制が大学医師不足の影響もあり、誠に残念ではありますが3名から2名へと減員となり、従来の外来診療が維持出来なくなりました。慢性期の

患者様については当院以外の近隣医療機関へご紹介させていただき、継続診療をご依頼してまいりました。地域の医療機関の皆様にはご負担をお掛けすることとなりますが、事情をご察しの上何卒ご理解とご協力をお願い致します。

4月1日以降、消化器内科の新患患者様は「完全紹介制」とさせていただき、紹介状をご持参いただいた患者様のみの診療とさせていただきます

#### ■第1内科（消化器内科）診療表

|    | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |                              |
|----|----|----|----|----|----|----|------------------------------|
| 午前 | 高村 | 柏谷 | 高村 | 柏谷 | 高村 | 柏谷 | 4月1日以降医師2名体制<br>新患は完全予約完全紹介制 |
| 午後 | 休診 |    |    |    |    |    |                              |

## 眼科 眼瞼外来の開始



帯広協会病院眼科では白内障などの一般的な眼の病気の他に、眼瞼下垂症、眼瞼内反症、霰粒腫、眼瞼腫瘍等の眼周囲の病気の治療にも専念しております。これらの眼の周りの病気を機能的な面のみならず整容的な面にも配慮した治療を行っております。

当院では北海道大学病院の眼形成グループの医師と連携し、これらの病気の治療を行っております。これらの病気でお困りの方がいらっしゃいましたら、眼科外来を受診していただければ治療・日程のご相談になりますので、是非当院眼科に受診していただければと思います。

## 脳神経外科が再開されました

脳神経外科という限られた医療資源を地域に有効活用する為、東北大学並びに従来の派遣先の札幌医大の両脳神経外科教室の了解の下に着任いたしました。微力ながら地域に貢献できる様頑張りたいと思います。従来通り、脳卒中・外傷・腫瘍を中心に、血管内治療・下垂体疾患・脊髄疾患等必要に応じて大学の専門医にコンタクトをとって治療を進めてまいります。当面一人体制で何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、その点は御容赦願います。水曜日は昨年から「パーキンソン病・ふるえ外来」を行っています川上医師が、引き続き担当いたします。改めて、よろしくお願いいたします。

(文責 菅野三信)



### 脳神経外科診療の診療体制について

平成22年4月1日から、脳神経外科 菅野 三信医師が着任され、毎週月曜～土曜日診療を再開いたします。

尚、川上徳昭医師の「パーキンソン病・ふるえ外来」は、毎週水曜日これまでどおり診察を行います。

#### ■第2内科（循環器内科）

|    | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 午前 | 菅野 | 菅野 | 川上 | 菅野 | 菅野 | 菅野 |
| 午後 | 休診 |    | 川上 | 休診 |    |    |

## 第2回地域医療連携講演会

▶院内3階講堂

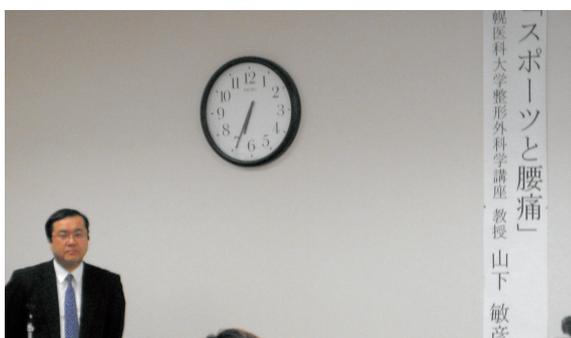


**日時** 平成21年11月27日（金） 18：30～20：00  
**演題** 「放射線治療の現状」  
**講師** 札幌医科大学 放射線医学講座  
 教授 晴山 雅人先生

癌治療法における放射線療法の意義と特徴を分かりやすくお教えいただきました。またこれから増加が見込まれる乳癌、前立腺癌への照射治療、特に前立腺組織内照射を詳しく解説していただきました。

## 第3回地域医療連携講演会

▶院内3階講堂



**日時** 平成21年12月7日（月） 18：30～20：00  
**演題** 「スポーツと腰痛」  
**講師** 札幌医科大学 整形外科学講座  
 教授 山下 敏彦先生

日本人では腰痛を訴える人が多いこととスポーツ別の発生頻度、また痛みのメカニズムと症状、治療について分かりやすくお教えいただきました。スポーツ障害ではバンクーバーオリンピックに出場したスケート選手の治療、リハビリの話もあり興味深いご講演でした。

### 地域医療連携委員会委員長挨拶

昨年10月、地域医療連携ニュース With の第1号を発刊後、当院では診療科の再開や縮小など様々な出来事がありました。新年度のスタートとともに地域連携室室長だった及能副院長が病院長に就任し、後を引き継いで私が室長に指名されました。専門は麻酔科で、地域の先生方と直接、接する機会は少ないですが、手術紹介をいただいた患者さんのほぼ全員の周術期に携わるといって、適任かもしれません。今後、麻酔科兼地域連携室室長という立場から、当院に紹介された患者さんが適切な医療を受け満足できる結果を得られたかどうかを、絶えず検証しフィードバックすることにより当院の医療の質を高めていきたいと思えます。また、地域の医療機関の先生方からも、当院に紹介した、あるいは当院から紹介された患者さんからの不平不満や、当院に対する御意見御要望などをぜひ連携室までお寄せください。地域の医療機関と当院を結ぶ窓口として、積極的に対応していきます。



医師不足といわれる状況で、慢性期の患者さんは地域の医療機関へ、急性期の入院治療を要する患者さんは中核となる急性期病院へという流れは、確実に進行してきています。この十勝でも例外ではなく、当院も、地域医療機関との連携なくしては、二次救急病院としての機能維持ができません。今後さらに、地域の先生方との連携を深めて行きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。 地域医療連携室室長 清水 齋

### 地域医療連携室スタッフ

|               |          |
|---------------|----------|
| 室長（副院長）       | 清水 齋（新）  |
| 看護副部長         | 田中美智子    |
| 外来師長          | 関井真由美    |
| 画像診断科技師長      | 永井 克昭    |
| 臨床検査科技師長      | 高野 良二    |
| リハビリテーション科技師長 | 森 茂樹     |
| 医療相談室MSW      | 田巻 憲史    |
| 事務部長          | 片桐 麻守    |
| 事務次長          | 船戸 徹（新）  |
| 医事課長          | 尾山 弘晃（新） |
| 地域活動係長        | 佐藤 千秋    |
| 地域医療連携専任スタッフ  | 北村 光明    |
|               | 菊地 千秋    |
|               | 坂田 美希（新） |

北海道社会事業協会帯広病院  
責任編集発行 地域医療連携室